

# 過疎集落再生・活性化支援事業

## 自治体情報 和歌山県田辺市

人口 / 84,475人 標準財政規模 / 24,274百万円

**担当課** 森林局 山村林業課  
**電話番号** 直通 0739-48-0303  
**実施主体** 三川元気夢来プロジェクト、三川区長会  
**関連ホームページ**

**事業期間** 平成23年度から平成25年度まで

**関係施策分類** ①、③

## 予算関連データ

総事業費：22,020千円

名称	所管	金額(千円)
過疎集落再生・活性化支援事業	和歌山県	8,858
緊急雇用創出事業	厚生労働省	2,000
一般財源	-	10,612
三川元気夢来プロジェクト		550

## 施策のポイント

三川地区の住民有志が市街地で店舗を借り上げ、今まで自家消費のために自作していた農産物や加工品をその店舗で販売することにより、耕作意欲や所得の向上に繋がっていたことから、更に生産量や売上げが上がるよう、また、街中の住民との交流が広がるよう、地区住民と行政が一体となって総合的な事業を展開している。

## 施策の概要

### 1. 取組に至る背景・目的

平成22年7月、田辺市街地に三川産品販売所「夢来人の館」がオープンしたことで、農産物生産の意欲は向上したが、鳥獣被害が多いため生産量が伸びず耕作放棄地が点在していた。また、過疎化が深刻な地区であることから、集落によっては店も遠く移動販売もこない地域もあり、生活に不安を抱える高齢者も少なくないことから、県補助事業である過疎集落再生・活性化支援事業を活用し、地区住民の生活が少しでも向上するよう総合的な事業を行っていくこととなった。

### 2. 取組の具体的内容

遊休農地の再耕作や獣害対策への支援。新しい加工品の開発への支援。  
 農産物、加工品の製造並びに集出荷への支援。販売促進のための支援。  
 集落支援員の設置  
 市街地住民との交流イベント経費負担。市街地への買い物バスツアーの経費負担等

### 3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

(H22)	(H25)
生産者 50世帯	生産者 75世帯
一世帯当たり売上 1万円	⇒ 一世帯当たり売上 2万円
月平均売上 50万円	月平均売上 150万円
年間売上(7月～) 450万円	年間売上 1,800万円

### 4. 現在までの実績・成果

生産者 (H22) 68人、(H23) 63人、(H24 (9月末現在)) 65人  
 売上 (H22) 6,163千円、(H23) 8,987千円、(H24 (9月末現在)) 4,989千円  
 月平均 (H22) 685千円、(H23) 749千円、(H24 (9月末現在)) 832千円

### 5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦勞した点とその対処法・解決策など

生産者会員で集出荷作業や店舗を運営しているが高齢者が多い事もあり、携わるスタッフが限られ一部の会員に負担がかかる。→連絡所職員や集落支援員が事業の支援を行っている。

店舗での会計や会員毎の売上集計が手計算だった為、集計に時間が掛っていた。→ポスレジ導入により解消された。

店舗に陳列する商品が主に農産物の為、同じ時期に同じ物ばかりの販売になりがち。→新たな農産物を耕作するため、講師を呼び研修を行った。

### 6. 今後の課題と展開

今尚過疎化並びに高齢化が進んでいることや、昨年の台風12号の影響により耕作面積や生産者が減少したことが大きな課題となっている。市街地住民との交流機会を増やし市街地から耕作しに来てくれる人の創出や、地域内にある社会福祉施設との連携により生産量の維持向上を目指していく。